

... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \*

北海道バイオマス・メールマガジン 創刊号

[2005.12.22発行] 北海道バイオマスネットワーク会議

\* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \* ... \*

<もくじ>

- 「北海道バイオマス・メールマガジン」の創刊にあたって
- 北海道大学大学院 古市徹教授からの「メッセージ」
- 「北海道バイオマスネットワーク会議」について
- バイオマス利活用に関する「キャッチフレーズ」の募集について
- 石狩支庁「石狩バイオマスネットワーク形成事業」について
- 資源リサイクルフォーラム2005を開催しました
- 今後の予定
- 事務局日より
- 読者のみなさまからの情報をお待ちしています
- 「北海道バイオマス・メールマガジン」の配信希望者を募集しています
- 編集後記

~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ...

「北海道バイオマス・メールマガジン」の創刊にあたって  
北海道環境生活部環境室循環型社会推進課長 島崎 昭

皆さんはじめまして。北海道循環型社会推進課の島崎です。

「北海道バイオマス・メールマガジン」第1号の創刊にあたり、事務局を代表してご挨拶を申し上げます。

広い大地と豊かな自然を擁する北海道、ここに住む私たちは、この大地と自然がもたらす多種多様な資源を活用して経済社会活動を営んでいます。しかしながらこれらの資源には限りがあり、恵まれた豊かな自然を次代に継承していくためには、化石燃料や鉱物資源など自然界での再生が不可能な資源の使用量を最小化するとともに、資源を循環利用していくことが必要となります。とりわけ、循環資源の中でも、再生可能な生物由来の有機性資源である「バイオマス」の利活用を進めていくことは大変重要となっており、最近、この「バイオマス」の利活用に向けた様々な取組が注目されてきております。

道では、今春、循環型社会を形成するための基本的な計画として「北海道循環型社会推進基本計画」を策定し、このなかで本道の特徴を活かした施策のひとつとして「バイオマスの利活用」を推進することとしています。バイオマスは、地域に広く薄く賦存するなどの特性をもち、また、その発生状況や土地利用、産業形態などの地域特性を踏まえた取組が重要となりますことから、関係者の皆さんの協力・連携なくしてその取組を進めていくことができません。

そのためのネットワーク組織として、9月21日に「北海道バイオマスネットワーク会議」を設立したところです。この会議では、バイオマスに関連する道内の団体、国や道の試験研究機関、行政機関のほか、バイオマスの利活用に関する先進的な取組を進めている地域の皆さんにも参加をいただくこととしており、この会議を推進母体として、バイオマス利活用の取組を全道的に広めていきたいと考えています。

このメールマガジンの発刊は、こうした取組の一環として始めるものであり、バイオマスに関する様々な情報を幅広く皆様にご提供することにより、バイオマスに関する理解をより一層深めて頂くとともに、地域における取組を進める上での参考にしていただこうというものです。今後とも、皆様のご協力をお願いいたします。

~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ... ~ ...

北海道バイオマスネットワーク会議会長 北海道大学 古市徹教授からの「メッセージ」

時代背景として、循環型社会とIT時代ということが言われています。バイオマスを対象に、循環型社会において効率的に情報共有するためのネットワークの形成が要望されています。IT時代においては、従前の上意下達（逆も）の硬直化した階層構造では、十分な情報伝達はできません。例えばアメリカ全土に、必要な情報をネットワークを介して伝達するのに、最低5個のハブを介することで可能と言われていました。情報を共有する手段や組織として、ネットワークを形成することの必然性を示しているといえます。

また、循環型社会の形成の必要性が言われています。その本質は、廃棄物をリサイクルすることだけでなく、物の資源採集から生産・流通・消費までの動脈系の流れと、廃棄・収集運搬・リサイクル・適正処理の流れの静脈系を、一つの連続した物流と変換として眺め、物質収支をとることと、健全な社会規範の下で流れを制御（管理）することです。そのためには、勿論、技術論的な物の量的な収支を明確にすることが手段としてまず必要です。しかしそれよりも、現状把握した上で、社会システムとして如何なる目的（例えば、大きくは人類の福祉の向上）を設定し、国民（市民）の合意形成

の上、我々の行動原理を如何に合理的に決めていくの方がより重要と考えます。

ネットワークの形成には、人、物、金と情報が必要です。そしてさらに、それらを生かすための、場と時を得ることが重要です。つまり、「場」としては、北海道は、農林水産業が盛んであり、バイオマス（廃棄物系、未利用系、資源作物）が豊富であるという地域特性があります。また、「時」としては、北海道循環型社会推進基本計画、バイオマス・ニッポン総合戦略等という機運があります。場・時を得て、人・物・金と情報のシステムを、如何に合理的に構築していくかが重要です。情報のネットワークとともに、それを支える人のネットワーク、例えば情熱的なリーダー、人脈、関係者の協力等が特に重要です。北海道バイオマスネットワーク会議を核として、情報、人だけでなく、物・金も含めたネットワークを、情熱と叡智を持って一緒につくっていきこうではありませんか。

～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ …

#### 「北海道バイオマスネットワーク会議」について

平成17年3月に策定した「北海道循環型社会推進基本計画」に基づき、本道におけるバイオマス利活用の推進を図るため、地域におけるバイオマス利活用の取組の促進・支援と、全道的なネットワークを構築することを目的として、「北海道バイオマスネットワーク会議」を設立しました。

主な活動内容としては、事業化の促進、人的交流や地域間交流の促進、先進的な取組・技術の情報収集とその普及促進などを行うこととし、今年度は、特定の課題についての検討、バイオマスセミナーの開催や情報誌の発行などを予定しています。

会議は、バイオマス利活用の推進に関連する学識経験者、団体、試験研究機関、行政機関で構成し、会議の会長には、北海道大学大学院工学研究科の古市徹教授に就任をお願いいたしました。現在の構成メンバーは次のとおりですが、今後の取組などに応じて随時追加・変更するほか、オブザーバーとして民間企業等の参加も予定しています。

- 関係団体 ～ 道経連、JA中央会、道漁業協同組合連合会、道酪農畜産協会、道水産物加工業協同組合連合会、道食品産業協議会、道産業廃棄物協会
- 試験研究機関 ～ 開発土木研究所、工業試験場、中央農業試験場、畜産試験場、中央水産試験場、環境科学研究センター
- 行政機関 ～ 北海道開発局、北海道経済産業局、北海道地方環境事務所、室蘭市、白老町、留萌市、滝川市、北海道

9月21日の設立総会の概要、今年度の事業計画の詳細については、道循環型社会推進課のHPをご覧ください。

[http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-khbts/recycle\\_2/biomass/biomass\\_net.html](http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-khbts/recycle_2/biomass/biomass_net.html)

～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ …

#### バイオマス利活用に関する「キャッチフレーズ」の募集について

「北海道バイオマスネットワーク会議」の取組の一環として、バイオマス利活用の取組を広く全道に広げていくため、「北海道らしいバイオマスの利活用」のイメージを表現したキャッチフレーズを募集することとしました。

#### 募集要領等

応募資格は問いません。

募集内容は、「北海道らしいバイオマスの利活用」をイメージしたキャッチフレーズです。

以下の事項を記入の上、電子メール、郵送、FAXなどにより応募して下さい。

郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、職業、電話番号、メールアドレス

応募期間 平成17年12月26日（月）から平成18年2月末日まで（必着）

来年3月に開催予定の「北海道バイオマスネットワーク会議」で入選者1点を選考し、入選者に直接通知するとともに、道のホームページなどに掲載します。

入選作品は、平成18年度から道が実施するバイオマス利活用に関する普及啓発事業等に活用します。

詳細は、道のHPをご覧ください。

[http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-khbts/recycle\\_2/biomass/biomass\\_net.html](http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-khbts/recycle_2/biomass/biomass_net.html)

～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ … ～ …

#### 石狩支庁「石狩バイオマスネットワーク形成事業」について

石狩支庁では、平成17年度から「石狩バイオマスネットワーク形成事業」を実施し、生ごみを中心としたバイオマスの有効活用の方策を探るとともに、新エネルギーの利用や新産業の創出等の可能性を明らかにすることとしており、この事業の一環として、平成17年7月に「石狩バイオマスネットワーク研究会」を設立しました。



登録変更・解除について

配信登録の内容変更（送信先メールアドレスの変更など）や配信登録の解除につきましては、お手数ですが、事務局まで「変更の内容」や「登録解除」の旨をお知らせください。

このメールマガジンは、「北海道バイオマスネットワーク会議」事務局  
北海道環境生活部環境室循環型社会推進課循環推進グループで配信しています。

\*\*\*\*\*

\* 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 \*

\* TEL:011-204-5197 FAX:011-232-4970 \*

\* E-mail:kansei.kanhai1@pref.hokkaido.jp \*

\*\*\*\*\*